

アジア太平洋のビジネス界のリーダー達は  
APECにアジア太平洋地域の自由貿易圏実現に向けた進展の加速を強く求める

チリ

2014年5月7日

アジア太平洋のビジネス・リーダーは来週中国の青島で会合予定の APEC の貿易担当大臣に対し ABAC が APEC のリーダーに対して 10 年前にこのチリで提言したアジア太平洋自由貿易圏 (FTAAP) の実現に向けたプロセスを、具体的な手段を講じることにより、加速させるよう強く求める。

10 年以上にわたり、APEC は FTAAP 実現のため、着実にステップを進めてきたが、環太平洋パートナーシップ協定 (TPP) や、地域包括的経済連携 (RCEP)、太平洋同盟 (PA) を含め、FTAAP に至る可能な道筋を支持してきたことは特筆すべきである。ABAC のこれまでの取り組みの多くの部分は、これらの道筋が最終的には確実に FTAAP に収斂していくよう進められてきた。

ABAC の地域経済統合作業部会の議長であるトニー・ノウエルは ABAC の期待を次のように要約した。「地域経済統合を達成するためには、ボゴール目標を 2020 年までに達成する必要がある。ボゴール目標を達成するためには、FTAAP が形成されることが必要であり、そのためには、首尾よく FTAAP が完成するための 1 つ、またはいくつかの交渉の道筋が完成しないといけない。そしてビジネスの要求を満たすためには、交渉の道筋の目的は質が高く、野心的で包括的なものでないといけない。」

ABAC は TPP が完成に近づいていると見ているが、モメンタムが維持されるためには、より政治的な方向を示すことが必要であると考えている。RCEP はより迅速なペースで進められ、FTAAP に向けた他の道筋とより整合性がとれるような高い目標をもつ必要があるだろう。ABAC は FTAAP がそれぞれの道筋の最高水準のものを中心に組成される経済連携となると確信している。

「これらのさまざまな経済連携の進展や、2020 年というボゴール目標達成の期限が刻一刻と近づいている現状に鑑み、ABAC は APEC が今、FTAAP 達成のプロセスでよりトップダウンの方向を示すことが必要であると考え。」とニン・ガオニン ABAC2014 年議長は述べた。「これは、全体のビジョンの更なる調整、FTAAP 完成がもたらすメリットに関するしっかりした経済分析、透明性向上やビジネスニーズの明確化を狙いとしたステークホルダーとの対話、等を行うこととなろう。したがって、私どもは APEC が FTAAP 実現に向けたフィージビリティ・スタディや、ロードマップ、作業工程を設け具体的なステップを踏むことを歓迎する。」

さらに、「FTAAP のコンセプトを最初に紹介したのは ABAC であるが、この何年かで明らかになってきたのは、今日、圧倒的に多く展開されているグローバルなバリューチェーン、サプライチェーンと言うビジネスモデルが成功するのは、国境を越えたモノやサービスの移動を妨げる摩擦が緩和あるいは、解消されるときのみである。バリューチェーン、サプライチェーンは高度な効率性や生産性を達成し、すべての所得レベルの人々が種々物品を購入しやすいものにし、人々の生活の質の向上に寄与した。」とニン・ガオニンは語った。「FTAAP はこうした摩擦の問題を解決するための最も効率的、かつ包括的なメカニズムである。」

ニン・ガオニンは、モノ・サービスに関する貿易・投資の自由な流れや、優れたインフラ基盤、強い金融市場のメカニズムは、グローバルなバリューチェーンに各エコノミーがどの程度まで参加できるか、を決定する鍵となる要素である、と述べた。したがって、今年の ABAC の取組みの多くは、各エコノミーがこれらの要素を実現し、包括的で質の高い、FTAAP の基礎を築くプロセスを支援するための提言作成に注力してきた。

APEC エコノミーにおいて、またグローバル・バリュー・チェーン (GVC)において、サービスは重要な役割を果たすことから、ABAC は GVC におけるサービス分野の役割を明確化する取り組み、たとえばサービスの自由化に関わる事業組織のマッピング、地域の期間労働者の効率的な移動促進、サービスの問題についての APEC 高官との連携を進めてきた。

投資に関しては、ABAC は政府と民間企業との対話のガイダンスや、対話促進を企図したツールの開発を進めてきた。こうした取り組みを通じ、関係大臣に対し、ハイレベルの投資専門家によるグループ設立の提案についてサポートを求めて行くことになる。グループ設立の目的は投資促進のために、企業に対する客観的なアドバイスを行ったり、投資に関する定量的な指標を活用し、それを投資実績の価値を示す指標の信頼性や、認知度を促進するための有効なツールとしていくことである。

地域のインフラへの膨大な資金提供のニーズを満たすためには、より多くの民間企業の参画や、新規企業の発掘が必要である。ABAC はまたインフラ投資環境整備チェックリストを整備し、APEC エコノミーが事業コミュニティとの対話を増やすためのプラットフォームとして活用を推奨している。

ABAC はこれらや、その他の提言についての詳細につき、青島で開催される貿易大臣会合で紹介する予定である。